

(様式2(1))

はーとふるセゾン宝塚

作成日: R5年 3月 10日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11・23	・入居者の認知症状の進行に伴い、おひとりおひとりへのより深い関わりや認知症ケアについて専門的な知識が必要となっている。	・職員の認知症ケアへの意欲を高めると共に入居者おひとりおひとりへの関わりを深める。	・職員同士がケアの方法や発見を共有し(ユニットミーティングで「心を動かされた事」を発表)入居者との関わりを深める意識付けを行う。 ・4DASを活用し介護・福祉面から根拠を持ったケアを提供する。	12 ヶ月
2	47	・リスクマネジメントに対する意識の向上 ・服薬に関する事故が多い。 ・多くの服薬事故は職員が起因している。	・確実な服薬を行う。	・決められた服薬介助のルーティーンワークを確実に行う。 ・定期的に様々な方法で注意喚起を行う。 ・リスクマネジメント委員会の活動を抑止に繋げる	12 ヶ月
3	36	・入居者様に対しての言葉使いが馴れ合いになっている部分がある。 ・言葉による制止がみられる。	・適切な接遇で入居者様の尊厳をまもる。	・不適切な接遇を見逃さない。 ・認知症の方の行動の意味の理解に努め、優しい或いは丁寧な声掛けを行う ・接遇委員会の活動で適切な接遇に繋げる。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。